

# ご案内

## 第68回塑性加工連合講演会講演募集

開催日：平成29年11月10日(金)～11日(土)  
会場：フェニックスプラザ[〒910-0018] 福井県福井市田原1丁目13番6号  
テーマセッション講演申込締切：平成29年7月18日(火) 必着  
一般講演申込締切：平成29年7月25日(火) 必着  
講演論文集原稿締切：平成29年9月11日(月) 14時まで  
(注意：原稿提出遅れの場合は、下記の特別原稿編集作業費を請求します)  
※事前参加登録手続きは8月中旬にホームページにて公開予定です。

共催：軽金属学会, 精密工学会, 日本金属学会, 日本機械学会, 日本材料学会,  
日本伸銅協会, 日本鉄鋼協会, 日本塑性加工学会 (幹事学会)  
協賛：高分子学会, 日本トライボロジー学会, 日本複合材料学会, 日本レオロジー学会, プラスチック成形加工学会, 溶接学会, 型技術協会, 日本合成樹脂技術協会, 粉体粉末冶金協会  
後援：日刊工業新聞社

●講演申込方法：  
整理作業の円滑化のため、学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。ホームページからの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話でお問合せください。  
・講演申込には、会員ID・パスワードが必要です。  
ID・パスワード発行までにお時間がかかりますので、入会申込みは7月7日(金)までをお願いします。また、共催学協会会員には今回限り有効なIDとパスワードを発行します。

講演申込用ホームページアドレス  
<http://www.jstp.or.jp> 【講演申込みのページ】

注意) 申し込み後24時間以内に受付確認メールが送られてこない場合は、早急に学会事務局まで電話(03-3435-8301)でご連絡ください。申し込みが登録されていないおそれがあります。

●講演申込上の注意：  
1. 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限り、連名者の資格はその限りではなく、連名者数(除く講演者)は6名までとします。  
2. 講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。  
3. 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。  
4. 講演分類は右記の表より1つずつ選んだ組合せで表示します。  
5. 未発表かつオリジナルな内容に限ります。

●原稿の提出：  
講演論文集の原稿枚数はA4用紙2枚です。原稿はPDFで提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照下さい。  
今回から講演プログラムと連動して原稿の一部等を公開するサービスを実施します。原稿提出時に、①公開しない、②原稿の最初1/4頁を公開、③原稿内の図表の1つを選択して公開、④400字以内の文章を別途公開、の4つのパターンを選択して頂きます。これらの内容は学会ホームページに掲載される講演会プログラムにリンクして表示されます。  
公開日は平成29年9月18日(月)です。この公開により原稿の記載内容は公知と見なされます。原稿内容について特許申請等をお考えの方はご承知おき下さい。

●特別原稿編集作業費：  
講演論文集原稿締切後に提出された原稿は編集作業に支障を来すため、特別原稿編集作業費として20,000円を請求いたします。また、9月15日(金)14時までに原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます。更に20,000円を請求いたします。  
9月11日(月)14時以降～9月15日(金)14時まで 20,000円  
9月15日(金)14時以降 講演取消および20,000円

●参加登録：  
講演会に参加する方(講演者、連名者、聴講者)は参加登録が必要です。  
早期割引参加登録手続きは8月中旬にホームページにて公開予定です。

●支払方法：  
参加登録料、特別原稿編集作業費は一括請求させていただきます。  
なお、講演申込整理費は今回から廃止しました。

●優秀論文講演奨励賞の申込：  
35歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。優秀論文講演奨励賞の対象となる35歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択していただき、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞の受賞歴のある方は、受賞した講演会后2年間に欠格期間となることを申し添えます。

表1 素材形態別分類 表2 加工法別分類

素材形態別	加工法別
板材 A	圧延 a
	鍛造 b
	転造 c
	押出し d
塊状物 B (線・棒・型材等)	引抜き e
	ロール成形 f
	チューブフォーミング g
	スピニング h
管材 C	せん断 i
	曲げ j
	板材成形 k
	矯正 l
不定形材 D (粉末・溶湯・木材等)	高エネルギー速度 m
	接合 n
	複合加工 o
	粉末成形 p
	射出成形 q
	半溶融・半凝固・溶湯 r
	インクリメンタルフォーミング s
	サーボ応用加工 t
	マイクロフォーミング u
	超音波応用加工 v
	ドライ加工 w
	温・熱間プレス成形 x
表面改質 y	
その他 z	

表3 要素技術別分類

材料試験	1
塑性理論	2
解析技術	基礎理論, 解析モデル 3
	数値シミュレーション 4
	実験シミュレーション 5
材料	在来実用金属 6
	新材料・機能性材料 7
	複合材料(CFRP) 8
	超塑性材料 9
	プラスチック 10
	粉末材料 11
	セラミック 12
	ポーラス 13
木材・その他 14	
加工特性	変形特性・負荷特性 15
	加工限界 16
	加工精度 17
	材質改善 18
	その他 19
工具, 金型	工具, 金型設計 20
	CAD/CAM 21
	工具材料 22
	その他 23
加工・生産システム	計測, 制御 24
	加工機械, システム 25
	生産システム(FMS) 26
	知能化技術(AI, エキスパート) 27
その他 28	
トライボロジー	摩擦・焼付き 29
	摩耗 30
	潤滑剤 31
	表面処理 32
	その他 33
環境	環境負荷 34
	省エネルギー 35
	その他 36
その他	37